

新型コロナ禍での実習対応とこれからの実習教育

東海大学 農学部 農学教育実習センター牧場部門では、農学部 応用動物科学科1, 2年生を対象とした必修科目、動物飼育管理実習1, 2, 3と牧場実習1, 2(5科目5単位)がある。新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面実習を春学期(前期)内に行えない状況になり、学科と協議・模索しながら、これまでの実習内容を顧みても春学期は遠隔と対面を併用した実習を行った。これまでの地域特性やキャンパス併設型の実習場を活かした教育から、2016年4月の熊本地震以降の実習内容や運営方法の大幅な変更を余儀なくされ、コロナ禍におけるオンデマンド教材の作成を通して改めて本実習センターの教育資源とその活用について振り返ることができた。

2023年度4月に熊本県内の新たなキャンパスにおいてキャンパス併設型の実習が完成し、新たな農学部としての実習教育を構築していく必要がある。今年度の動画コンテンツを用いた予習・復習用教材の作成は、理解度の向上だけでなく、教職員間の情報共有につながったことから今後の新たな実習教育に取り入れているべきものかもしれない。今年度は各大学附属農場で様々な対応がなされてきたと思われる。その対応の中の一例として東海大学農学部農学教育実習センターが実施した事例について報告する。

①学科と連携したコンテンツ作成

- 2019年度末から例年の実習項目を見直すとともに、4月より本センター牧場において例年の実習で行う内容のビデオ撮影を開始
- 学科教員とセンター職員との間で編集した動画の内容を確認し、解説のアフレコを加えたものを遠隔講義用の動画コンテンツを順次作成

➡ 学科およびセンター職員間での教育目標と内容の再確認



②オンデマンド教材の配信

牧場実習関係項目

- 綿羊の管理体系(器具の説明、剪毛手順、削蹄手順)
- 牧草の収穫体系(牧草の種類、機械での収穫手順)
- 飼料用トウモロコシ栽培体系
(畑の播種準備から、サイレージ調製手順)
- 牧野管理(放牧の手法、牧柵管理等)・牛の削蹄(器具の説明、削蹄手法)
- 牛の人工授精(発情兆候、器具の説明、準備、実施手順)
- その他の管理(ロープワーク)

動物飼育管理実習関係項目

- 乳用牛の飼育管理(餌の説明、給餌法)
- 乳用牛の搾乳管理(器具の準備説明、搾乳手順)
- 肉用牛の飼育管理(餌の説明、給餌法)
- 豚の飼育管理(餌の説明、給餌法)
- 綿羊の飼育管理(餌の説明、給餌法)

*緑字のものを右に例示



➡ 学内システムで配信

各実習の解説部分を担い、学生が実習内容を把握

③感染対策に基づく対面実習による補完

- オンデマンド教材を配信しながら、補完的に実施可能な実習項目について検討し、夏季休暇期間に本学の感染対策基準に基づいた実習を再開
- 秋学期(後期)以降の実習にもオンデマンド教材を予習および復習用教材として活かした内容を取り入れた実習の実施

➡ 補助教材としての活用と実習内容へのフィードバック



④Web上でのレポート提出とWebテストによる試験

- 感染対策のためにWeb上でのレポート提出
- 実物鑑定を含めた試験をWebテストで実施
- 使用画像は本センターで準備した物を用意し、画像検索等による解答を防止

➡ 感染対策と理解度把握の両立

